

【22_071/技術系メルマガ】『長期足』の扱い方

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

このところ技術系統きになってしまってすみませんが

今回は最近メルマガ登録してくれた方からも質問があった

『長期足環境の活用方法』について、一番スタンダード(かつ一番使う)考え方について

まとめていきたいと思います。

中でも重要なのは今日のメインとなる『日足』なのですが、この時間足の情報を活用できるかどうかで

【いかに、無駄なエントリーをへらし、楽にトレード出来るか】に大きく影響します。

習得にはそれなりの時間を要しますが、取り組む価値は十分以上にありますので

是非今日のメルマガの内容を参考にして、検証に取り入れてみてください。

┌
└─ 意識するのは『空間』と『邪魔者の存在』

結局は、サブタイトルに全ての結論が集約されてしまっている(毎度の事)ですが 笑

意外とトレードするとき、型通りにやっているのに思うほどプライスが伸びない

といったつまずきを感じる事の多い人は、この日足の『空間』を意識せずにトレードしている人が多いようです。

話を先に進める前に、このメルマガ用に作った図がありますので、先に見て頂きます。

▼『日足』チャートを見るときに、先ずここに注目(画像)▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/22-03-12_hiashi.png

図に示したように、日足以上の環境で目線が決めやすい状況であるほど

下位時間足でのセットアップが『目線方向と一致している場合』にエッジ(優位性)が非常に高くなります。

要は、セットアップを信頼してエントリーした時に、思った方向へ伸びて

利確できる確率が高くなるということです。

その時に、僕がまずチェックする項目というのが

【邪魔な水平線(MA)が行く手を阻んでいないか？】

⇒邪魔者のラインがいなければ、次のラインまでの空間が確保されている

⇒空いている空間方向に目線を固定する

これです。

MAにしる水平線にしる、これらを僕やガッキーが意識するのは

そことプライスが接触した際に、それが値動きを阻む(時には波の切り返しが起こる)

可能性がある場所と考えるからです。

もちろん、結果的に意識されない場合もあるわけですが

いつも“同じ基準”で意識している水平線(MA)なので、意識される可能性の方を考慮して

トレードプランを立てることによって、目線に対しても『一貫性』を保っています。

「結果として正しいかどうか」ではなく、『いつも同じ基準で判断』をすることに重要な意味があるわけです。

長期足環境の分析について、取り組む順序としては

僕のトレードスタイルにおいては あと回し にしても大丈夫と考えていますが

『より精度良くトレードしたい、無駄なエントリーを減らして楽にやりたい』

と考えるのであれば

【日足以上の相場環境がどうなっているか(目線を固定できる状況か?)を考慮したうえで

短期足のセットアップと組み合わせる】

という考え方を活用する事によって、よりピンポイントに的を絞ったトレードができるようになります。

そこまでできるようになると、チャートの監視時間を大幅に減らして

より効率的な稼ぎ方ができるようになりますので、是非時間をかけて習得してほしい内容です。

気になる点があれば、質問してくださいね。